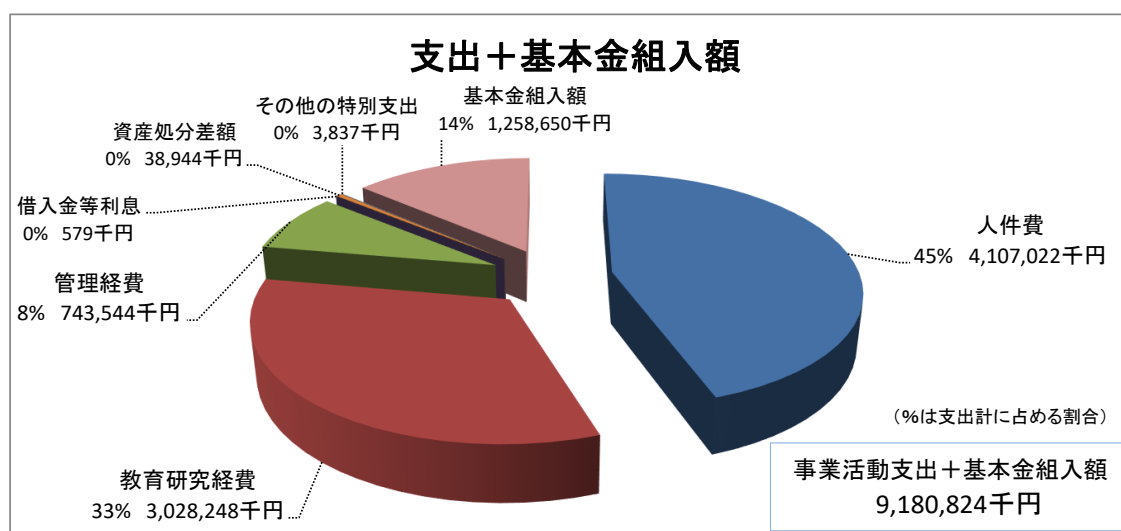
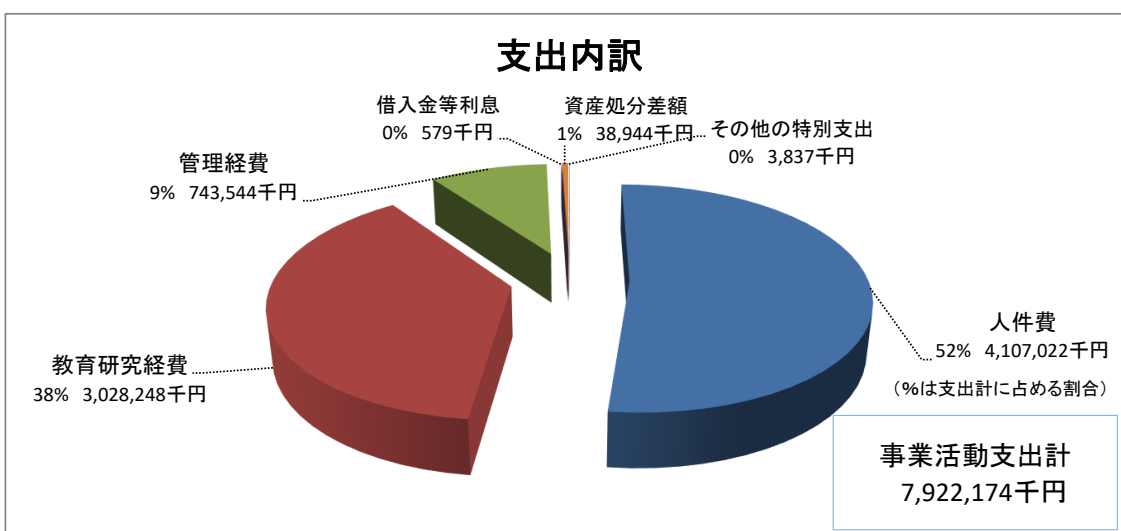
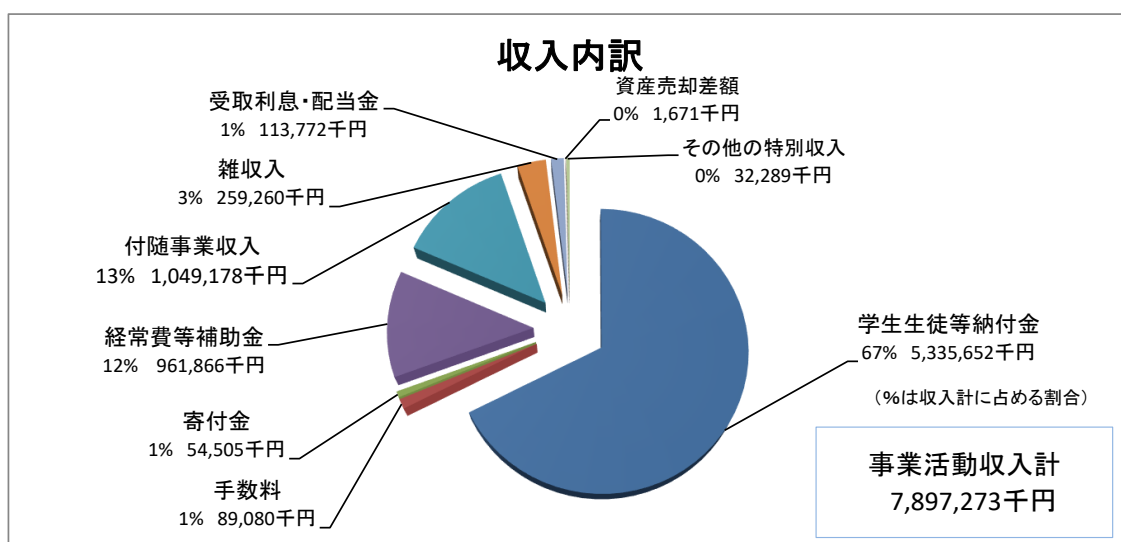


2019年度事業活動収支計算書 (学園全体)

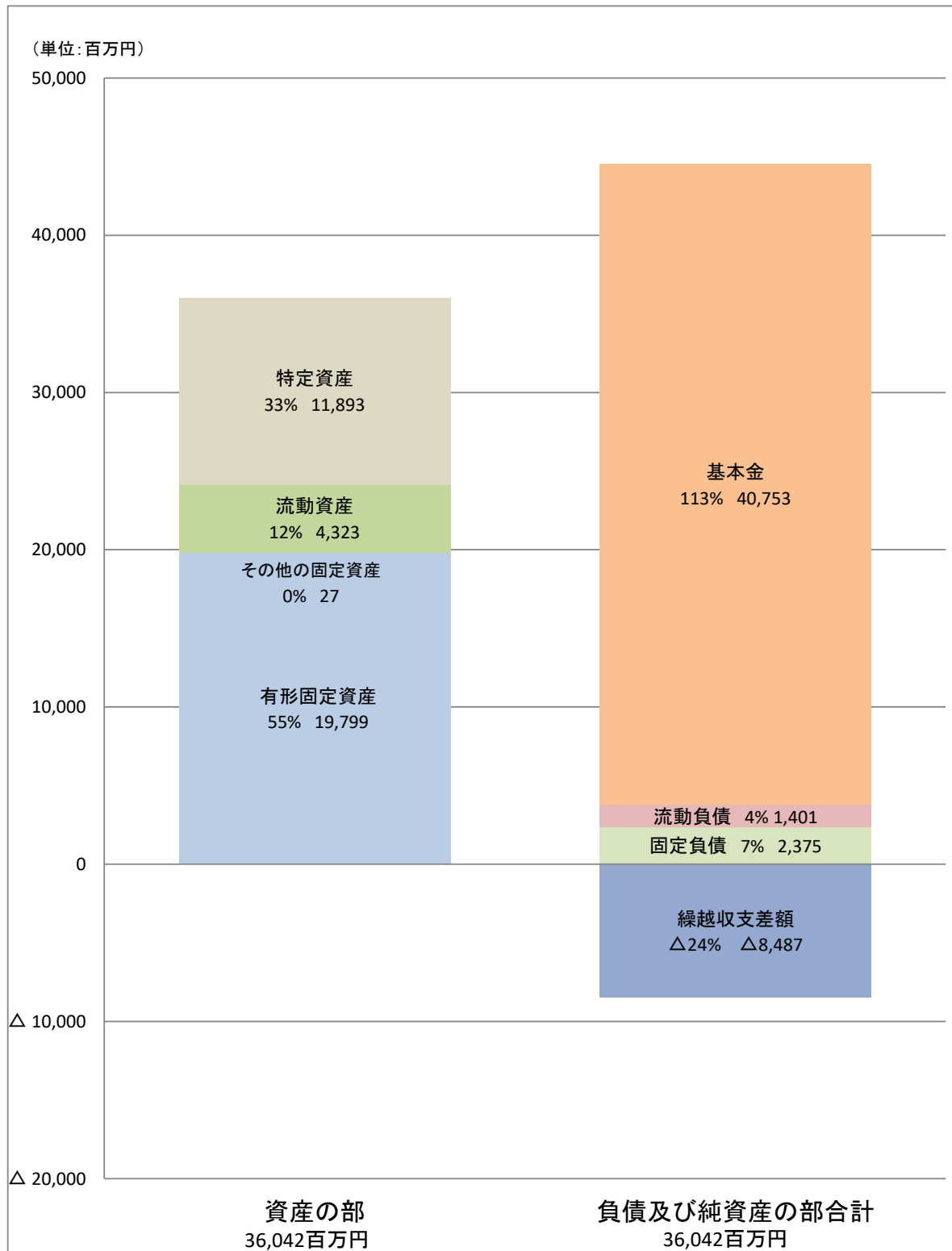


学園全体の事業活動収入の合計は7,897百万円であった。うち67%の5,336百万円が学生生徒等納付金、12%の962百万円が経常費等補助金、13%の1,049百万円が付随事業収入であった。

学園全体の事業活動支出の合計は7,922百万円であった。うち52%の4,107百万円が人件費、38%の3,028百万円が教育研究経費、9%の744百万円が管理経費であった。

事業活動収入の合計から事業活動支出の合計を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は51百万円となり、事業活動収支差額比率は1%であった。

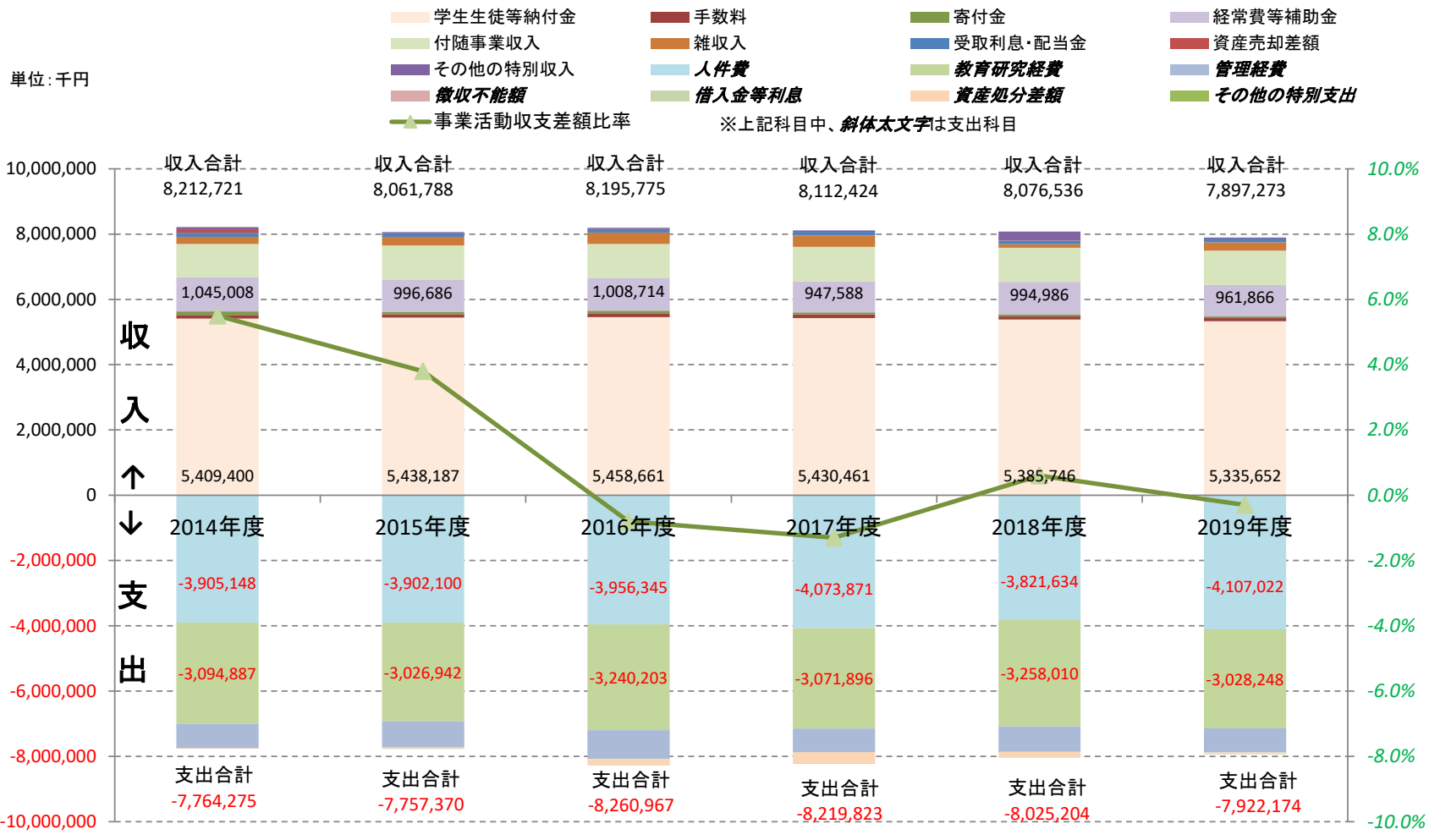
2019年度貸借対照表 (学園全体)



学園全体の総資産額は36,042百万円であった。うち55%の19,799百万円が有形固定資産、33%の11,893百万円が特定資産、0.1%の27百万円がその他の固定資産、12%の4,323百万円が流動資産であった。

学園全体の固定負債は7%の2,375百万円であった。流動負債は4%の1,401百万円であった。基本金は113%の40,753百万円であった。繰越収支差額は△24%の△8,487百万円であった。

事業活動収入と事業活動支出の推移(学園全体)



学園全体の2019事業活動収入の合計は、前年比 179百万円減(▲2.2%)の7,897百万円となった。主な増減内容は、雑収入で149百万円増、付随事業収入で6百万円増となったが、その他の特別収入で234百万円減、学生生徒等納付金50百万円減、経常費等補助金33百万円減となった。

学園全体の2019事業活動支出の合計は、前年比 103百万円減(▲1.3%)の7,922百万円となった(グラフ上は支出をマイナス表示としている)。主な増減内訳は、人件費で285百万円増、教育研究経費は230百万円減、管理経費34百万円減、資産処分差額125百万円減である。この結果、基本金組入前等年度収支差額は前年比76百万円減(▲48.5%)の▲25百万円となった。